



**後藤仁嘉さん(肉用牛1年)、意見発表で優秀賞を受賞！
 ～九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会**

(令和4年1月12・13日) ～

本来ならば宮崎県にて開催される予定だった本年度の標記大会は、オンラインによるリモート発表での開催となりました。九州地区8県の農業大学校から、意見発表に8名、プロジェクト発表に17名が代表として発表を行いました。本校からは、意見発表で肉用牛1年後藤仁嘉さん、プロジェクト発表で酪農2年吉永祥さん、花き2年森岡ひよりさんの3名が素晴らしい発表をしました。

審査の結果、後藤仁嘉さんは意見発表において優秀賞を受賞し、2月1日、2日に開催の全国発表会の九州ブロック代表に選出され、優良賞を受賞しました。

2年生国内研修

令和3年10月22日(金)から2泊3日で、南九州エリアで研修旅行を実施しました。初日の農業研修では、無農薬栽培にこだわる綾町の「早川農苑」、学科別に「チャレンジショップ宮本」、「みらい畑」、「本部農場」をそれぞれ訪問し、講話を受けました。2日目は、宮崎を満喫できる観光名所を巡り、学生は大満足の様子でした。最終日には人吉の水害被災地各所で水害および防災についての講話をいただきました。災害時に助けになったのは「若い人の力」との話もあり、若者としての防災意識の大切さを学びました。



卒業に寄せて

熊本県立農業大学校長 中村 秀朗



第43期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

顧みれば、皆さんを迎えたのがついこの間のように思われますが、月日が経つのは早いもので、新たな旅立ちの時を迎えました。

今年も新型コロナウイルスと共存しなければなりませんでした。予定した行事の多くを実施することができました。特に、学生会行事は、学生の主体的な取り組みを求めましたが、見事に調整や運営する姿に感激し、改めて「やればできる」と確信しました。

一方で、大学校の生活は高校までと違い、有り余る時間を享受し、時には学生の本分を忘れて、楽な方へ流されてしまうこともあったかと思えます。

これから皆さんは、社会人としての自覚をもち、直面するであろう様々な困難や壁に果敢に挑戦し、自分の可能性を信じて前向きに突き進んでください。また、時には旧交を温め、仲間の手を差し伸べることができる人格を陶冶してください。

皆さんが、熊本県立農業大学校生としての誇りを胸に、それぞれの分野で、持てる力の全てを発揮して活躍することを期待しています。

また、ここまで育てていただいた御家族への感謝の気持ちを忘れず、少しずつ親孝行をしてください。

最後に、皆さんが幸せで充実した人生を送られることを心より願い、私の贈る言葉といたします。がんばれ、熊本農大生。

卒業を迎えて ～農大43期生～

農産園芸学科(農特産コース)

園川 大博

農大では、米、麦、大豆などの生産に関することに加え、野菜部「Markt」で野菜作りも学びました。また、県内各地や県外から集まった多くの仲間と恵まれ、充実した毎日でした。卒業後は我が家に就農します。今後も自分自身を磨きながら、我が家の経営だけでなく、地域農業の担い手として頑張っていきます。



農産園芸学科(花きコース)

泉田 憲龍

農大では、高校で学べない専門的な知識と技術を学ぶことが出来ました。「ホオズキにおける植栽密度の比較試験」というテーマでプロジェクト研究をする中で、時に失敗したり、暑いハウスの中で心が折れそうになったりと、いくつもの苦労がありました。しかし、見事な紅に染まったホオズキを収穫した時の喜びは、言葉にならないものがありました。卒業後は農機具メーカーに就職します。農大での2年間はとても楽しく、充実したものになりました。本当にありがとうございました。



農産園芸学科(果樹コース)

村上 興祐

入学以来、温州ミカン、不知火、ナシ、モモ、ブドウなどの常緑果樹・落葉果樹の栽培技術と知識を学び、また、寮生活では、多くの仲間との出会いがあり、絆を作ることができました。卒業後は、熊本市西区河内町で温州ミカン農家として、農大で学んだ技術と知識を活かして行きたいと思います。



野菜学科(野菜Aコース)

小柳 翔

コロナ禍で行事の中止や変更が相次ぐ中、数少ない行事の中でも農家派遣研修は印象的で、農家の方の生の声を聞くことができ、経営者としての考えに深く感銘を受けました。農大で得た技術や知識、そして一生モノの友人はなによりの財産です。これらを糧に地元阿蘇をはじめ、熊本の農業を盛り上げていきたいです。



野菜学科(野菜Bコース)

橋本 尚弥

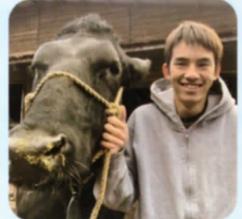
コース長を務めましたが、経営実習に加え、国内研修、黒石原祭等の農大の行事でもコースの仲間を支えられ、みんなで団結して楽しく過ごすことができました。卒業後は農業法人に就職します。農大で学んできた知識や技術を活かし、さらに磨いていきます。2年間ありがとうございました。



畜産学科(酪農コース)

吉川 慎一

私は2年間、農大で畜産に関する知識や技術を学ぶことができました。農業高校を卒業後、農大へ入学しましたが、農大での経営実習は高校とは違い、機械を用いた実習が多く組み込まれており、実際の農家での作業体系と同様なため、機械操作に慣れるのに苦労したことを思い出します。農大卒業は、我家の酪農経営に従事します。この2年間で身に付けたことを活かしつつ、自分自身ももっと成長できるよう、頑張りたいと思います。



畜産学科(肉用牛コース)

竹中 愛美

農大で過ごした2年間では畜産に関する学びを深め、初めての寮生活を経験しました。新型コロナウイルスの影響により、様々な場面で制限がかけられましたが充実した学生生活を送ることができました。卒業後は就職します。農大で学んだ知識を生かしつつ、自分自身さらに成長できるよう頑張ります。そして、熊本県の農業のさらなる発展に貢献していきたいです。



農学部長 緒方 宏樹



卒業おめでとうございます。自分の可能性を信じて、これからも頑張ってください。

研修を終えて ～新規就農支援研修(17期生)～

プロ経営者コース 上田 海斗



研修修了後は、熊本市南区でナス農家になります。農業の経験が全く無かったため、研修で学ぶことは全てが新しく、勉強になりました。特に、施設栽培の技術や大特・けん引免許を取得することができました。この研修で学んだことを活かし、地域をリードするような経営者となるよう、さらに知識や技術を高めていきます。

実践農業コース 村上 浩光



一昨年退職したことを機に、新規就農支援研修を受講させていただきました。ここで他の研修生や先生方との繋がりが出来たことは私の一生の宝物になりました。今後はここで学んだ基礎知識を自分なりに試行錯誤を重ねオンラインワンを目指し、消費者に喜ばれる作物の栽培に取り組みます。

令和3年度プロジェクト発表・意見発表

クラウド牛群管理システム機能データを 活用した牛の疾病の早期発見は可能か

● 畜産学科(酪農コース2年) 吉永 祥

牛の反すう行動は、採食した飼料を消化するために
行われ、その時間の増減や回数によって牛の健康状態
を掴む指標の一つとされています。

現在農大で試験的に導入している「クラウド牛群管理
システム」では、牛の行動を検知し、一日の活動をスマ
ートデバイスに通知されます。その機能を活用し、
人が目視で確認できる前に疾病の早期発見が可能であ
るかを検証しました。その結果、一日の反すう時間や
活動量が一定の下回った個体は80%の確率で発熱症状が確認できました。
さらに、分娩後、活動量や反すう時間に変化があった個体はケトosisに罹
患おり、分娩後の疾病の早期発見、早期治療につながりました。

今回の試験で、クラウド牛群管理システムによる牛の疾病の早期発見は
可能であるとともに、治療後の反すう時間の推移から回復の有無も確認する
ことが出来ました。



畜産で阿蘇を活かす地域へ

● 畜産学科(肉用牛コース1年) 後藤 仁嘉

私は、農大を卒業後、就農してあか牛飼育をメインに携わっていく
ことを決めています。そこでは非達成したい2つの夢があります。
その1番目はあか牛の拡大。若い生産者に温厚で病気に強く、成長が
早いあか牛の飼いやさを、再認識してもらい、再び阿蘇を「あか牛
の里」にしたいと思えます。夢の2番目が耕作放棄地の活用。地域の
耕作放棄地に牧草の作付けし、その収穫した牧草ロールを高齢化、
かつ小規模な畜産農家らに供給し、畜産農家減少に歯止めをかけようと頑張っています。
今、私は様々な利用方法がある耕作放棄地は「宝の山」だと感じています。

私は、将来、放牧に強いあか牛の特徴を生かしつつ、IoT技術も活用し、コスト削減のため
にも放牧を意欲的に推進していきます。そして、人と牛で美しい環境を維持していくこと
こそが持続可能な農業につながっていくと信じています。阿蘇五岳をバックに草地で草
をはむ、たくさんなあか牛の姿を夢に見ながら、私は頑張っています。



カーネーションの光源の違いが 切花品質に及ぼす影響

● 農産園芸学科(花きコース2年) 森岡 ひより

植物の形態形成には赤色光と遠赤色光が関与しており、
赤色光と遠赤色光の処理による発芽の促進と阻害
は良く知られています。近年、青色LEDが開発され、
様々な波長のLED電球が生産されるようになり、植物
の生育開花に及ぼす単波長の光の影響が調べられるよ
うになりました。

そこで、光源の違いがカーネーションの採花時期と
切り花品質に及ぼす影響について調べました。

その結果、赤色LED電球を用いると草丈が伸長抑制され、青色LED電球
を用いると草丈の伸長促進が見られました。また光源の違いは早晚生に左
右される結果がみられました。一番花の開花促進や、早生や中早生の二番
花を3月から5月の需要が高い時期での収穫も見込めます。これらのことか
ら、LED電球による開花調節を行うことで、電力を省力化したうえで、労力
の分散や経営の安定化を図ることができると考えられます。



審査講評

● 副校長 川口 靖浩

意見発表は、自分の将来の夢
や目標の実現に向け、思いや頑張
る姿、農大で何を学んでどう感じ
ているかなどがよくわかりました。
プロジェクト発表は、生産現場の
改善に活かせる課題設定であり、新技術の導入や熱心な
観察や調査、結果分析がされ、考察では経営分析などを
して成果を分かりやすくするなどの努力が感じられまし
た。今後ますます問題発見力・解決力を発揮し、活躍さ
れることを期待します。



九州地区農業大学校親善野球大会 in 佐賀

令和3年12月18日(土)に福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県の農業大
学校が参加する親善野球大会が佐賀県農業大学校グラウンドで開催されました。当
校から参加した12名の選手は、互いに声を掛け合いながら一生懸命にプレーして
いました。なかなか練習する時間が取れなかったにもかかわらず、学生たちは大活
躍して長崎県、福岡県に連勝しました。

また、他の農大生とも会話を交わすなど学生間の交流もでき、学生たちにとって
大変良い機会となりました。



第44回 黒石原祭

学園祭実行委員長 畜産学科肉用牛コース2年 杉谷 薫

「共に作る未来の農業～逆境に立ち向かえ農大魂～」のスローガンのもと、令和3
年11月14日(日)、コロナウイルス感染予防のため、昨年同様参加者を限定して開
催しました。

コロナの影響で様々な学校行事が中止になるなか、学生会の仕事の集大成として例
年以上に学生が主体的に企画・運営し、ステージイベントや農大生ミニ講座などを実
施したことで、非常に充実した1日となり、
農大生活での良い経験となりました。

バザーや青空市場では、人数を制限する
中でしたが、昨年より多くのお客様にお出
いただき、例年ほどではありませんが賑わ
いました。

来年度もコロナウイルス対応は必要とな
ると思われませんが、可能な限り開かれた黒石
原祭とし、より多くの皆様に御来場いた
だき、学生との交流を楽しんでいただ
けるよう
企画を考えていきたいと思
います。



農業者の学び直しの場

「くまもと農業アカデミー」

くまもと農業アカデミーでは、県内の意欲ある
農業者等を対象に、農業に関する知識や技術等を
学ぶ講座を開設しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策
を講じる中で、YouTubeやzoomを活用したオン
ライン講座をさらに拡充し、県内各地での集合型
講座をライブ中継することで自宅からでも受講で
きる体制を整えました。集合型講座とオンライン
講座とを併せて32講座実施し、多くの皆さんの学
びを支援して好評を得ました。



1年生農家派遣研修

1年生の農家派遣研修を10月14日から10月20日まで土日を除いて5日間実施しました。コロナ禍のため、残念ながら宿泊なしの通い研修となりました。多くの生産者の皆様に御協力頂き、厚くお礼申し上げます。

学生からは、「生産現場を体験できて良かった」、「生産に関するいろいろな話を聞いて良かった」、「農大の作物よりも立派な作物を見て、本物は違う」等の感想が聞かれました。

農家派遣研修でしか経験できないことを学び、学生の成長が感じられました。

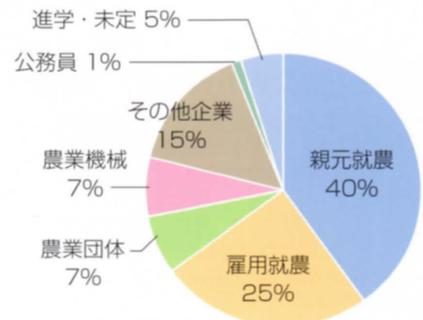


令和3年度(2021年度)卒業見込者の進路状況 (R4.1.30現在)

令和3年度(2021年度)卒業見込者(77名)のうち、親元就農が31名、農業法人等への雇用就農が19名で、就農率は65%となりました。

企業等への就職は、農業団体5名、農業機械5名、その他企業12名、公務員1名の計23名です。

進学は東海大学農学部1名、未定が3名です。



免許・資格取得状況 (R3.1.17現在)

昨年度に比べ、無人ヘリ中級、大型特殊(農耕車限定)、フラワー装飾技能士3級、農業技術検定合格者、農作物鳥獣被害対策実務者及び家畜商免許取得者が増えています。

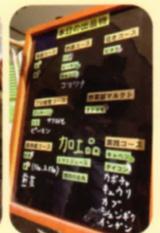
| 免許・資格の種類 | 43期生 | 44期生 |
|----------------|------|------|
| 小規模ボイラー | 2 | 10 |
| 小型建設機械 | — | 9 |
| 無人ヘリ中級 | — | 5 |
| ドローン・マルチコプター中級 | — | 13 |
| 大型特殊(農耕車限定) | 8 | 63 |
| けん引(農耕車限定) | 53 | — |
| フォークリフト講習 | 26 | 14 |
| フラワー装飾技能士3級 | 4 | 3 |
| 家畜人工授精 | 16 | — |
| アーク溶接 | 6 | 10 |
| 農業技術検定2級 | 0 | 3 |
| 農業技術検定3級 | 0 | 9 |
| 農作物鳥獣被害対策実務者 | 7 | 8 |
| 家畜商 | 0 | 18 |

「—」は受験できない学年

令和4年度入学者の志願状況

| 学科名 | 定員 | コース名 | 推薦 | 一般 | 合計 |
|------|----|------|----|----|----|
| 農産園芸 | 30 | 農特産 | 6 | 1 | 7 |
| | | 花き | 5 | 0 | 5 |
| | | 果樹 | 6 | 2 | 8 |
| 野菜 | 30 | 野菜 | 26 | 10 | 36 |
| 畜産 | 20 | 酪農 | 5 | 2 | 7 |
| | | 肉用牛 | 4 | 0 | 4 |
| 合計 | 80 | | 52 | 15 | 67 |

「農大マルシェ」おかげさまで2周年



令和元年6月に農大正門横にマルシェがオープンし、3年目を迎えました。コロナ禍の中、地域の皆様に支えられ農大の良き学びの場として定着しています。マルシェ開催日の金曜日13時30分には、常連客の行列ができます。密を回避するために、少人数ずつ学生の誘導のもと購入されます。農大生・研修生が直接お客様と対話をしての販売実習。これからも、地域の皆様に学習・研修の成果を見せることができるよう、日々の実習に取り組みます。